

令和6年度 第2回 藤沢市立湘南台中学校 学校運営協議会会議録

日 時 2024年9月2日（月） 15：30から
場 所 湘南台中学校 第1会議室

○出席委員

川 口 昇	地域協力者会議 会長
伊 藤 雅 浩	湘南台市民センター長
松 原 保	湘南台中学校 校長
荒 川 洋	湘南台中学校 教頭
森 満 弘	湘南台中学校 総括教諭（2年学年主任）
古 宮 由佳子	保護者 PTA 会長
片 岡 あゆみ	保護者 PTA 副会長
加 藤 なつみ	保護者 PTA 会計

出席委員：8名

欠席委員：3名

山 田 大 介	多摩大学 教授
岩 崎 道 子	湘南台高校 校長
西 川 典 利	日本語支援団体 代表

傍聴人数： 0名

次 第

1 開 会

2 議 題

（1）コーディネーター（地域学校協働活動推進委員）について

【委員】

- ・学校運営協議会を設置運営している所から、順にコーディネーターを設置していくことになっている。
- ・コミスクで意見がでた事を、具体化していく組織＝地域学校協働本部がコミスクと両輪で運営していく。
- ・そこを結びつける人がコーディネーターとして必要になる。
- ・現状、元本校PTA会長の中原さんを推薦したい。
- ・中原さんは、民生委員や本校の見守りボランティアを行っており、幅広く地域のことを理解している。まずは、この場で中原さんを推薦し了承を得たい。

【会長】

- ・どこにコーディネーターは属するのか。

【委員】

- ・この学校運営協議会に属することになる。
- ・地域学校協働本部がすでに4月に湘南台地区は湘南台地区学校応援団としてできている。
- ・その会長が中原さんであり、中原さんは仕事が増えるかも知れないが、お願いしたいと考えている。

【会長】

- ・何も異論がなければ、中原さんでどうでしょうか。

【委員】

- ・異議無し

【委員】

- ・本来11月にある第3回のこの学校運営協議会からとなるが、今後、本人の了解が得られた段階で、11月を待たずに、任命して活動していくことになる。

(2) 地域学校協働本部のモデル事業実施について

【委員】

- ・湘南台は、先行して湘南台地区学校応援団ができていますので、これをモデル事業として、どんなことをやっているか、年度の終わりに示して欲しいと市教委から打診があった。
- ・学校運営協議会の中で、湘南台地区学校応援団を地域学校協働本部として位置づけていくことと、それを市のモデル事業として実施していくことを承認いただきたい。

【会長】

- ・モデル事業として何かやることがあるか。

【委員】

- ・特にお金がつくわけでもなく、やることは変わらない。

【委員】

- ・補足として、令和8年までに藤沢市の全校にコミスクを設置し、その後、地域学校協働本部を設置するとし、本来であれば3年くらいかかる。
- ・ただ、学校は生徒もどんどん育っていくし、待ってられない部分もある。
- ・湘南台地区は、どこよりも早く地域学校協働本部として、湘南台地区応援団を設置し学校の課題を実働部隊としてサポートしてきた。
- ・そこでこの湘南台地区応援団を地域学校協働本部として位置づけ、今後の活動をしていく。
- ・今やっていることは、現状変わらない。

【会長】

- ・湘南台は、市の中で一番進んでいるということになる。
- ・モデル事業の承認、地域学校協働本部として湘南台地区学校応援団の設置を承認いただきたい。

【委員】

- ・異議無し。

(3) 外国につながるのある生徒の支援

①外国につながる生徒（保護者）に対する日本語支援・学習支援について

【委員】

- ・昨年度も、出た話題ですが、正直ここがなかなか進んでいない現状がある。
- ・一昨年度までは、外国籍の生徒も多かったのですが、国際学級が開設され、人もつくことがあった。
- ・現状は、国際級はない。その中で、昨年度は時期をずらして中国籍の生徒が2人転入してき

た。

- ・日常のコミュニケーションはなんとかなるが、やはり学習言語となると非常に厳しい。
- ・2人には、日本語指導教室や日本語指導員もついているが、週1回という時間的な制約がありなかなか日本語が上達しない厳しい状況が続いている。

【会長】

- ・何か良い方策があればお聞かせ願いたい。

【委員】

- ・このコミスクの委員である、山田先生の多摩大学の学生にお願いしてみるのはいかがでしょうか。

【委員】

- ・保護者の方が、地域の中華系の飲食店等をよく利用するのであれば、そこから地域にある中国籍のコミュニティーに関わるようなこともできるかもしれない。

【委員】

- ・現状3年生は、受験が迫っているので進路等はどう考えているのか

【委員】

- ・日本の高校に進学したいと考えている。

【委員】

- ・できれば、ボランティアで中国語を介して日本語を教えてくれる方がいれば理想である。
- ・特に日常言語だけでなく、学習言語の習得が一番の課題になる。

【委員】

- ・桜美林大学は中国語を専門に教育しているところがある。そのような所なら、ニーズに応えることができるような学生が見つかるかも知れない。

【委員】

- ・本日頂いた貴重なご意見を参考にしたい。

(4) その他

3 連絡事項

(1) 地域の居場所開設について（湘南台地区学校応援団）

- ・当初10月中には開設予定だったが、少しずつ遅れている。今後、9月半ばに最終打合せをし、開設は11月になるかもしれない。

(2) 不登校生徒への学校外支援について

①総合市民図書館での図書館ボランティア

- ・2名ボランティアで活動している。社会性が向上している。

②公民館イベント等のチラシ作成

- ・クオリティの高いチラシが完成した。本人も自信になった。今後も継続して依頼あり。

③ギター指導

- ・ギター指導できる方を地域から探し結びつける。

(3) 文化祭について

①地域団体の参加（スポーツ吹き矢、川柳、競技カルタ）

- ・地域の団体を、体験ブース型で参加してもらう。その他、湘南台高校書道部も参加。

②ポップコーン・ボン菓子

(4) 湘南台公園周辺地域貢献クリーン活動について

- ・湘南台中学校と湘南台地区生活環境協議会とまちづくり協会の協力で実施。

(5) 地域イベントボランティアについて

- ・今田祭り、湘南台引地川灯籠流し（＊雨天中止）のボランティア多数参加。

5 その他

- ・今年度の会議日程（予定）確認

第3回 11月11日（月） 15：00～（会場：湘南台中学校 第1会議室）

第4回 2月26日（水） 15：00～（会場：湘南台中学校 第1会議室）

6 閉 会